

加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画案）に対する意見公募の結果について

1. 意見公募期間

平成28年8月1日（月）～平成28年9月15日（木）

2. 意見提出者数

66名 183件

3. 提出された意見と市の考え方

	ご意見	市の考え方
1	少子化、人口減少問題には様々な視点から対処されるよう望む	
2	企業を誘致し働く場所を作り、子どもが増える対策がまずは必要。（同意見11件）	
3	教育環境と生活環境の整備、若者と子育て世代への支援を進め、教育環境が整い、若者が住みやすい市というイメージを定着させるべき	人口減少対策につきましては、人口減少対策室、企業誘致室等を設け、企業誘致、産業の育成（IoT推進事業）、子育て支援（多子世帯の経済的負担軽減、子育て包括支援センターの開設、子どもの楽しい遊び場作り等）、教育の充実（学力向上対策、サイエンス・テクノロジー教育・ふるさと教育・国際理解教育の推進等）に全市を挙げて全力で取り組んでおります。今後はさらに、市の将来を考えながら、定住化と地域活性化を推進して参ります。
4	校下の行事が少なくなってしまうだろうが、人口減少と時代の流れではないか。	
5	保育園や学校の無い地域に若者の定住はない。学校統廃合で人口のさらなる減少が危惧される。（同意見14件）	
6	教育委員会だけではなく、市全体として将来を見据えた取り組みとして頂きたい。	
7	小規模校を全国レベルの優秀な学校にして、移住する家族を募集してはどうか。その際は、働く場所が必要であるから、企業誘致、男女共生、少子化対策、子育て支援など関係部署と住民が時間をかけて話し合うことが必要。	

	ご意見	市の考え方
8	複式学級には様々なメリットもある。他学年生との学び合いは、アクティブラーニングに繋がる。 (同意見1件)	
9	アクティブラーニングは少ない人数でも十分可能である。統合のために無理に結びついている感じがする。	
10	主体的、協同的に学べるようにする手段が、「グループ学習や発表により切磋琢磨できる教育環境の提供」と断定するのはあまりにも短絡的で根拠がない。「15人以上の学習集団が必要」という断定にも数値的根拠の記載がない。計画案には賛同できない。	少人数でも主体的に学ぶことは可能ですが、複数のグループでの協議、協働的に学びあう学習を行う上で困難が生じると予想されます。学びあう環境を作るために、ある程度の規模が必要と考えております。最低4人グループが4つできる程度の人数が望ましいと考えております。
11	教育上15人以下だと間違いなく少ないので本計画でよい。 (同意見1件)	
12	教育は平等に受けられるべきもの。その点、複式学級は好ましいものではない。チームティーチングや少人数学級制がとられる中で、複式学級は逆行するもの。	
13	複式授業はアクティブラーニングや思考を深める活動をする際に難しさがある。	
14	一定数以上の規模の方がより多くの体験ができ、広い視野を持つ。	
15	競争心、我慢する心、協調性を育むのは小規模校では難しい。人間関係においても、いったん上手くいかなくなると、小規模校では対応できず不登校に繋がる。 (同意見1件)	教育委員会といたしましては、学校では切磋琢磨できる教育環境を提供していかなければなりません。そのためには、少なくとも15人以上の学習集団が必要であると考えております。
16	少人数のマイナス面としては、目が行き届く反面、児童に主体性や自主性が欠けがちになるところ。	
17	クラス替えの無い学校では児童の成長面にデメリットがあるほか、教師の成長も難しい。ベテランと若手をバランスよく配置しなければならないが、単級校では不可能。	

	ご意見	市の考え方
18	将来的に複式学級にならない規模であるなら、小規模校の良さを生かし、廃校はしない方が良い。	
19	地域の小さな学校で学ぶことは、自然や文化の理解に繋がり、さらに子ども同士や子どもと教師の間に良好な関係が生まれることになる。 (同意見2件)	
20	小規模校のメリットがある。慎重に対応してほしい。 (同意見7件)	小規模校のメリットは十分承知しております。しかしデメリットもあります。子どものよりよい学ぶ環境作りという視点から、本基本計画を作成しました。教育委員会では、学びあえる環境とは1学級15人以上の学習集団であると考えております。
21	小規模校は子どもと地域の関係が密接である。これまで、先生や地域の人協力し合って、たくさんの優秀な子どもたちを育ててきた。	
22	遠距離通学では不登校になりやすいと思われる。	不登校の要因は様々ですが、通学距離が要因になるというデータはございません。不登校対策は十分に行っていかなければなりません。
23	中学校においても橋立中は1クラスなので人間関係が固定化する。またクラブ活動も限られるので統廃合を考えるべき。 (同意見2件)	現段階では中学校の統合は考えておりません。しかし、将来的には考える必要に迫られることも考えられます。
24	規模が大きくなると行事や安全体制に目が行き届かなくなるのではないか。	統合後は過大規模になるわけではなく、適正規模の学校になります。規模にかかわらず安全には十分気を配って参ります。
25	大規模で学ぶデメリットについても考えるべき。つらい思いをする子供が出てくると思う。	大規模校、小規模校にはそれぞれメリット、デメリットがあります。学校を運営していく際に、そのメリットを最大限に生かし、デメリットを最小限に抑えていくように工夫しております。大規模校においても、きめ細かな指導を行うように努めています。

	ご意見	市の考え方
26	地区の仲間意識が薄れてしまう。 (同意見2件)	
27	自分の住む町についての学習が減り、町に行事に学校が関わることも無くなることは寂しい。	
28	地域の良さや伝統をこの先も伝えていく必要がある。	
29	問題はコミュニティとの関係。「廃校=コミュニティの崩壊」と訴える人がいるかもしれないが、まちづくりや子ども会がどんな活動をするかで役割は果たせる。	地域住民のよりどころである学校がなくなるということは、大変大きな問題であるととらえております。学校統廃合によって、地域コミュニティが崩壊することのないように、地域住民によるまちづくり活動、公民館活動など、地域のコミュニティを堅固にする活動が活発に行われるようにならなければなりません。
30	小学校の区切りが大きくなった場合、地域とのつながりや行事をどのようにするか課題である。	
31	まちづくりと教育面で優れている。環境が変わることはマイナスであるため、統廃合には反対。 (同意見1件)	
32	地元への愛着を持たせるために、地元の学校で学ばせたい。財政難なら仕方ないと考える。	教育委員会では子どもの学ぶ環境の実現という視点で、本基本計画案を策定いたしました。切磋琢磨できる教育環境を提供していくかなければならない。そのためには、少なくとも15人以上の学習集団が必要であると考えております。

	ご意見	市の考え方
33	小規模校であっても、大規模校と同じ校務や出張があるため教職員の負担が大きい。	
34	小規模校では教職員一人あたりの校務分掌が多く、それに伴う出張も増えるため、大規模校以上に教職員の負担は大きくなる。また、ベテラン教員の退職による力量の急激な低下も懸念される。統廃合には、政治やコミュニティ、地域バランスなど課題が多いが、児童生徒に望ましい規模での教育を整備するため、市教委の早急な英断を望む。長引きさせることは、さらに不安を増大させるだけである。	教育委員会としましては、過小規模の学校の教員の授業や学校運営にかかる負担が大きいことは承知しております。また、大量退職の時代にあって、教員同士の切磋琢磨できる環境も提供したいと考えております。
35	学級の児童数が少なければ授業の準備時間を減らせられる。教師はたいへん多忙である。多人数の学級の担任教員の多忙を解消するためにも少人数の方がよい。	授業は教師の仕事の本務中の本務です。学校全体として軽減できる業務がないか洗い出すことが必要ではないかと考えます。
36	三谷小と緑丘小を三木小に統合すべき。 (同意見1件)	まちづくりとの関連を見れば地域コミュニティのメリットはさほどないと思われます。また、3校が統合しても100人規模の学校になり、中長期的に見れば再度の統合を考えなければならない状況になると思われます。統合を繰り返すということは児童、保護者、地域にとって大きな負担になると思われます。
37	錦城小と錦城東小の統合すべき。 (同意見1件)	錦城小、錦城東小は基本計画案の中で、解消するべき規模の学校に該当しません。複式学級の解消をまず行って参ります。
38	義務教育学校制度を導入した学校統廃合を行ってはどうか。大聖寺地区では、1～4年生を各小学校（地域分校）に、5～9年生を錦城中学校（本校）に通学させ、規模のメリットを生かした教育を実施すべき	教育委員会としましては中学校は現状のまま存続させるという考え方のもとに本基本計画案を策定しました。まずは複式学級の解消に取り組んで参りたいと思います。
39	統廃合を機に校区を見直し、新校舎を建ててはどうか。	まちづくりの区割りにつきましては、歴史的背景もあり、学校の統廃合のためだけに見直しをすることは難しいと考えます。校区につきましては、学校の統合を進めるうえで、児童の通学負担を考慮して見直しが必要になった場合は検討して参りたいと考えております。
40	統廃合と合わせ「まちづくり」の区割り再編をしてはどうか。	
41	校区の見直しをするべき。 (同意見2件)	
42	細坪、白鳥、幸町を三谷小に通わせてほしい。	

	ご意見	市の考え方
43	全児童がスクールバスで通学する学校、全児童が歩いて通学する学校を作つてはどうか。	柔軟な発想ですが、地域づくりの視点から校区は堅持したいと考えております。
44	三木小と緑丘小を統合し、さらに上木町と三ツ町の児童が三木小の校区となるよう変更する。	中長期的に見れば再度の統合を考えなければならない状況になると思われます。統合を繰り返すということは児童、保護者、地域にとって大きな負担になると考えられます。
45	三木小と緑丘小、福井県の吉崎小の統合を検討すべき。併せて三木保育所も小学校に併合すべき。	
46	橋立中はできるだけ存続してほしい。そのために校区の見直しや校区外通学について検討すべき。 (同意見1件)	現段階では中学校の統合は考えておりません。
47	山代小学校は、統廃合によって過大な規模が継続することになる。計画案には、この解消の検討が入っていない。	山代小は657人になり、20学級規模になる見込みです。12~18学級が適正規模の学校ですので2学級ほど多い大規模学校になります。しかし、その後も児童数減少が予測されていますので、適正規模の学校になると思われます。
48	庄小学校は児童数100名程度で、単級、少ない学年は10数名。少人数による困難さは無い。 (同意見1件)	山代中学校区の小学校全体の児童数の減少予測、施設の更新時期を考慮して計画を立てました。今後は保護者・地元住民と十分協議して参りたいと考えております。
49	山代地区の4小学校統合は強引な感じがする。	山代小学校は現在築55年を経過した校舎であります。10年後には築65年となるため、改築を機会に統廃合を進めたいと考えたものであります。
50	行政効率や地域活力の面から考えると、まずは小規模同士の学校を統合し、10年後に統廃合を再検討するといった粘り強い対応が必要。 (同意見1件)	山代小学校の児童数の減少が著しいと予測されています。中長期的に見れば再度の統合を考えなければならない状況になると思われます。統合を繰り返すということは児童、保護者、地域にとって大きな負担になると思われます。
51	山代小を二つに分けるとよい。大和町方面、庄、勅使、東谷口を1つにする。	

	ご意見	市の考え方
52	山代小学校が5年後484人になるということは、空き教室が増えて好ましくない。校舎の老朽化を考えて、新校舎建設を望みたい。（同意見1件）	山代小学校の校舎は10年後には築65年になることから、改築を検討して参りたいと考えています。
53	山代地区の4小学校を統合するとき、山代小を移転して通学しやすくすることが必要。たとえば山代中周辺。	改築を検討するようになった場合には、考えて参ります。
54	保護者・地域住民から理解を得られるよう、配慮を望む。（同意見7件）	丁寧な説明を行う地域説明会を繰り返し行い、理解を得られるよう努めて参ります。
55	跡地は有効に活用を。（同意見3件）	地域住民と市が十分協議を行って進めて参りたいと思います。
56	新聞発表で初めて知った。保護者や地域への説明、広報での発表もない。（同意見1件）	基本計画は案であり決定したものではありません。地域説明会で合意を得て参りたいと考えております。
57	有識者の会議に、我々地域住民の声が入っていない。市民不在で基本方針を決めないでほしい。（同意見2件）	加賀市学校適正規模検討委員会では地域住民の参加も得て協議を行って参りました。また、広く意見を聞くために、このパブリックコメントを募集して参りました。
58	改築と併せて統合すると同意が得られやすいのではないか。	統合規模や老朽の程度を考慮し、改築が必要である場合は、適切に進めて参ります。
59	これからの中学生をつくる若い人たちの意見をもっと聞いてほしい。	若い世代、保護者等、様々な方々に地域説明会を行い、理解を得られるよう努めて参ります。
60	加賀市における今後の公共施設全体の統廃合計画の中で議論されいくべき	加賀市公共施設マネジメントとの整合性を図りながら、まずは児童の学ぶ環境整備を最優先に行って参ります。
61	防災面からも検討すべき。海拔の高い地域は安全である。（同意見1件）	防災面の避難計画は十分に行っております。

	ご意見	市の考え方
62	小学生は行動範囲が狭く、広範な校区にならないようにすべき。	校区の範囲はもちろん広範にならないに越したことはありませんが、学ぶ環境を整備することを優先し、このような基本計画案にいたしました。スクールバスによる通学支援は十分に行って参ります。
63	廃校させる努力ではなく、残すための努力をせよ。 (同意見3件)	加賀市は少子化・人口減少の解消のために、「地域創生プラン」「ひと・まち・しごと総合戦略」等に基づきながら取り組みを進めております。
64	5年後の統廃合は早急過ぎる。もっと時間をかけて地域の意見を聞き、住民の理解を十分に得るまで説明会を開催して頂きたい。	5年後は目途であり、決定されたものではありません。地域説明会を行い、ていねいな説明を行い、地域住民との合意形成を図って参ります。
65	特認校として残すべき。 (同意見1件)	保護者・地域住民からの要望をお聞きしながら、特認校についても柔軟に考えて参りたいと思います。
66	スクールバスの運行を望む。通学措置をしっかり。 (同意見2件)	スクールバスの運行など、十分な通学措置を講じて参ります。
67	基本計画案の周知が不足している。より多くの声を聞く姿勢が必要。 (同意見1件)	市広報やHPで広報いたしました。また、各地区会館にも提言書を置かせていただきました。また、市内全地域で地域説明会を開催して参ります。
68	検討委員会委員に小規模校の校区委員を加え、当事者の意見を聞くべきであった (同意見1件)	加賀市学校適正規模検討委員会では委員として、中学校区より選出された小規模小学校の区長会長に参加していただきました。
69	住民は統廃合に反対である。 (同意見1件)	賛成意見の方、反対意見の方がおられると思いますが、子どもの学ぶ環境作りという視点から、基本計画を作成しました。学びあう環境を作るために、ある程度の規模が必要と考えております。
70	他地区の児童からいじめや差別にあう恐れもある。 (同意見3件)	統廃合にかかわらず、いじめは絶対に許されないものとして対処して参ります。

	ご意見	市の考え方
71	「15人以上の学習集団が必要」とあるが、人数で方針を決めつけて、生活環境を無視するような教育では、立派な人格形成がなされるとは思えない。	子どもの学ぶ環境作りという視点から、基本計画を作成しました。学びあう環境を作るために、ある程度の規模が必要と考えております。
72	1つの小学校から1つの中学校へ進学することには反対。知らない学校の児童と中学校になって出会う機会があった方が良い。	中1ギャップの軽減に資することが予想され、メリットもあると考えております。
73	歴史ある小学校が無くなるのは寂しいが、少子化に歯止めがかかるない以上、廃校はやむを得ない。（同意見18件）	伝統を継承する努力を進めて参りたいと思います。
74	小学校の越境入学は禁止すべき。（同意見2件）	それぞれのご家庭の事情があり、妥当な理由がある場合は認めております。
75	複式学級を解消するため、先生を採用できないか。（同意見2件）	複式授業は児童や教員への負担が大きいことは承知しております。適切な教育環境提供について考えて参ります。
76	スクールバスを利用しても時間の限定があり不便。	菅谷小学校と山中小学校の統合についてもスクールバスを運行しております。教育活動の工夫を行うことによって不便さを軽減するよう努力して参ります。時間割による低学年と高学年への対応や、行事への対応も十分行っております。
77	統廃合により三木小のジャズバンドが無くなるのは確実。	新しい学校で希望があれば、新しい形で継続ができるか検討して参ります。
78	基本計画案の本質は、アクティブラーニングの実現などではなく、費用削減と教員確保の問題であろうと考える。統廃合を推進するのであれば、体裁を整えるのではなく、現状を明らかにし、統合が避けられないものであるという根拠を示せば良い。	経費や費用を優先するのではなく、教育委員会では、あくまで子どもの学ぶ環境作りという視点から、基本計画案を作成しました。
79	パブリックコメントをガス抜きとして考えるのではなく、東京都知事のように、一度立ち止まって地域に足を運び、意見要望を聞き取った後で丁寧な説明をすべき。	いただいたご意見をもとに、教育委員会で検討し、地域説明会を繰り返し行い、ていねいな説明に努めます。

	ご意見	市の考え方
80	優れた自然遺産（海岸植物、松林、鹿島の森）や文化遺産（北前船）が色あせることのない配慮を望む。	地域遺産の理解と継承のために、ふるさと学習はこれからも推進していきます。
81	動橋地区会館で行われている「すずかけ塾」のような放課後学習の場を廃校施設で実施してほしい。	まちづくり活動の一環として行われているものであり、地域の方と一緒に推進していただきたい。跡施設活用については、統廃合決定の時点で地元住民と協議をして進めて参りたいと思います。
82	中学生に加賀市の魅力を考えさせ、起業家を育成してほしい。	キャリア教育の一環として取り組んでおります。
83	子育て世代への経済的支援をお願いしたい。	保育料の値下げ、医療費の無料化、給食費第三子無料化などの施策を行っております。
84	子育てるための施設を充実させてほしい。	市では「子育て安心パッケージ」の一環として「楽しい遊び場整備」を行います。
85	統合した学校においても教育に必要な職員を増員し、充実した教育活動を行わせてほしい。	教育に必要な環境を整えるよう努めて参ります。